

## 地域連携「特別授業」で学びを深める



本校では、地域連携として、地域人材や外部講師を活用した教育活動を進めています。先日2年生では、ゲストティーチャーを招いて、『環境学習会』が行われ、特に気候変動についての講演を聴きました。講師を務めてくださったのは、環境活動家の谷口たかひさ先生です。

今地球は気候変動による自然災害が多発し、危機的状況であるが、まずは「知る」ことが大切で、それが地球を救う希望であること。自分が満たされなければ、他には優しくできない（他のために行動できない）という視点から、自分を尊敬する感情（自尊感情、自己肯定感）を高めることが大切であることなどの内容で、自分になかなか自信がもてない思春期の中学生にとってもとてもタイムリーな講演となりました。また、やらなければならないことと、やってはいけないことだけの日本において、やっていいことがたくさんあるという視点からの義務と権利についての話もあり、シチズンシップ教育にもつながりました。



16日（金）には、各学年ごとに薬物乱用防止教室が行われました。講師を務めてくださったのはライオンズクラブの方々です。

薬物については、インターネットなどで様々な情報を得ることができる現在ですが、中には有害な（正しくない）情報も見られるのが現状です。そこで、講師の方からは中学生が知っておくべき正しい情報（知識）について詳しくご指導いただきました。覚醒剤や大麻などだけでなく、市販で売られている薬も用法を守らないと乱用になることなど自分の将来の夢を台無しにしないためにも「ダメ。ゼッタイ！」という強い意志をもつ

ことの大切さをしっかりと学ぶことができました。今回の薬物乱用教室では、保健委員会が進行を務めるなど、生徒自身が主体的に学ぼうとする姿勢が強く感じられました。また、授業後の生徒からは、今回の防止教室を通して学んだことを日常生活に生かしていきたいという声が多く聞かれました。

今回の特別授業のように、それぞれの分野で活躍なさっている方を講師として迎え、社会に目を向けながら学べるというのは、本当に貴重な経験となります。今後も、様々な機会に、様々な分野で活躍なさっている方をお迎えして、普段の授業ではなかなか知ることができない、体験することができない学びを計画、実施していきたいと思っております。

